

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成26年12月26日提出
【発行者名】	日興アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 村上 雅彦
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【事務連絡者氏名】	雄谷 敦史
【電話番号】	03-6447-6147
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	日興グラビティ・グローバル・ファンド
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	5兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成26年10月10日付をもって提出しました有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）において、投資顧問会社の異動などに伴ない、記載事項の一部に訂正事項がありますのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書が更新されます。なお、「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」および「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 2 ファンドの現況」は原届出書の更新後の内容を記載しています。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

<更新後>

ファンドの特色

- 1** 世界経済のけん引役として、更なる経済発展が見込まれ、株価の成長が期待される20カ国を選定します。
- 原則として、先進国10カ国、新興国10カ国の計20カ国*を投資対象国とし、各国株式市場の動きを捉えることをめざします。
 - 主に「グローバル株式マザーファンド」に投資を行なうファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - 実質的な投資対象は、各国の代表的な銘柄で構成された現物株式バスケットや株価指数先物取引にかかる権利のほか、指数に連動するETFなどとし、なお、原則として、為替ヘッジは行ないません。
- *当ファンドでは、特段の記載がない場合、IMF(国際通貨基金)の基準に基づき、先進国・新興国を分類します。
- 2** 投資対象国は、日興アセットマネジメント独自の評価ツールである「アドバンス・マトリクス」を用いて選定します。
- 「アドバンス・マトリクス」は、経済成長の基礎となる主要ファクターを広範に捉えた評価ツールです。今後、重要性が高まると考えられる「経済の高度化」をけん引する諸要因や政治経済の安定性などをカバーしています。
 - 投資対象国の選定は、原則として年1回行ないます。投資対象国の選定については、日興アセットマネジメント アジア リミテッドからの助言を考慮して日興アセットマネジメントが行ないます。
- 3** 国別配分比率は、日興アセットマネジメントが「グラビティ理論」を活用し、決定します。
- 国別配分比率の見直しは、原則として年2回行ないます。
 - 国別配分比率については、日興アセットマネジメント アジア リミテッドからの助言を考慮して日興アセットマネジメントが決定します。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用を行なえない場合があります。

ファンドのポイント

- 「アドバンス・マトリクス」を活用し、更なる経済発展が見込まれ、株価の成長が期待される投資対象20カ国（先進国10カ国+新興国10カ国）を選定します。
- 国別配分比率の決定には、「グラビティ理論」を活用します。

投資対象国の選定

「アドバンス・マトリクス」

「アドバンス・マトリクス」の評価項目

- | | |
|--------|----------|
| ①生産技術 | ④成長基盤 |
| ②産業高度化 | ⑤経済規模の拡大 |
| ③市場開放 | ⑥政治経済環境 |

経済発展ひいては株価も左右すると考えられる、「経済の高度化」の状況や政治経済の安定性などを含め、経済状況を評価し、投資対象国を選定します。



国別配分比率の決定

「グラビティ理論」

「グラビティ理論」とは

「2国間の貿易量は、互いの経済規模が大きく、距離が近いほど大きくなる」という国際経済学の考え方。

グローバル化に伴う世界貿易の拡大を背景としたグラビティ効果の高まりに着目し、国別配分比率を決定します。

※上記評価項目は、2014年10月末時点のものであり、将来変更される場合があります。

時代とともに変遷する世界経済の主役

- 世界経済は、時代とともに主役を代えながら、成長を続けてきました。
- 足元では、「IT革命」「グローバル化」「新興国の近代化」「先進国の少子高齢化」という4つの大潮流が進みつつあり、これらに順応・対応することが、世界経済の持続的成長にとって必要不可欠と考えられます。こうした環境を踏まえると、世界経済のけん引役は今後、先進国と新興国の両方から現れると考えられます。



今後、先進国や新興国の一部が世界経済をけん引

- 当ファンドでは、先進国・新興国を問わず「経済の高度化」を実現できる国が、今後の世界経済のけん引役として注目を集めると考えています。
- 先進国の場合は、生産性の向上などを通じて、世界に広がるニーズに応える国が注目を集め、新興国の場合は、成長基盤の拡充や市場開放などを通じて、先進国の資本・技術も取り入れながら、効率性の向上を伴って成長を遂げる国が注目されるとみています。

今後、「経済の高度化」を実現できるとみられる「先進国」「新興国」のイメージ



「アドバンス・マトリクス」で各国の成長を評価

- 当ファンドでは、経済発展ひいては株価も左右すると考えられる、経済の高度化の状況や政治経済の安定性などを「アドバンス・マトリクス」で評価し、日興アセットマネジメント アジア リミテッドからの助言を考慮して投資対象国を選定します*。

*流動性などの観点から、評価上位国であっても除外する場合があります。

- 「アドバンス・マトリクス」とは、各国の成長力を評価するための、日興アセットマネジメント独自の評価ツールであり、生産技術や産業高度化などといった「経済の高度化」の観点を評価項目に含んでいる点に特徴があります。

「アドバンス・マトリクス」では、「経済の高度化」という要素を含めて各国を評価

「アドバンス・マトリクス」の概念



※上記はイメージです。

「アドバンス・マトリクス」の評価項目

	大分類	小分類
1	①生産技術	a. 研究開発 b. 特許
	②産業高度化	a. 教育 b. 労働市場
	③市場開放	a. ビジネス環境 b. 開放性
	④成長基盤	a. インフラ b. 市場規模
2	⑤経済規模の拡大	a. 人口増加 b. GDPの増加
3	⑥政治経済環境	a. ファイナンス b. 政治

※上記評価項目は、2014年10月末時点のものであり、将来変更される場合があります。

投資対象国のイメージ

「アドバンス・マトリクス」による評価上位国が当ファンドの投資対象国

投資対象国

先進国		新興国	
評価が高い上位10ヵ国		評価が高い上位10ヵ国	
1	米国	1	マレーシア
2	シンガポール	2	中国
3	スウェーデン	3	チリ
4	オーストラリア	4	ペルー
5	フィンランド	5	トルコ
6	スイス	6	ポーランド
7	日本	7	メキシコ
8	韓国	8	タイ
9	カナダ	9	フィリピン
10	ドイツ	10	南アフリカ

※上記は、2014年10月末現在の投資対象国であり、将来変更される場合があります。

※上記は、投資対象国のイメージであり、実際の組入れや将来の組入れを約束・示唆するものではありません。

※上記評価は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

世界に広がる「グラビティ効果」

- 「2国間の貿易量は、互いの経済規模が大きく、距離が近いほど大きくなる」という国際経済学の考え方を、「グラビティ効果」、「グラビティ理論」と呼びます。
- FTA(自由貿易協定)などの経済連携に伴う関税引き下げや規制緩和、新興国でのインフラ整備などに伴う物流時間・コストの低減も、実質的な距離の短縮を意味し、貿易量の拡大につながると考えられます。

自由貿易協定の拡大により世界の貿易量は拡大傾向に

世界の主な経済連携などの例
(2014年10月末現在)

EU(欧州連合)

加盟国：ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、デンマーク、スウェーデンなど28ヵ国

ASEAN+3

日本 中国 韓国

ASEAN(東南アジア諸国連合)

加盟国：シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、インドネシアなど東南アジア地域の10ヵ国

注：ASEAN+3は、地域交流の緊密なASEANと日本・中国・韓国で協力していく枠組のこと

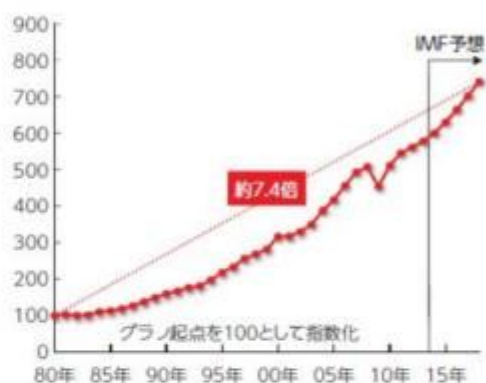
NAFTA(北米自由貿易協定)

加盟国：米国、カナダ、メキシコの3ヵ国

TPP(環太平洋経済連携協定)

交渉参加国：シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイ、米国、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシア、メキシコ、カナダ、日本の12ヵ国

世界の貿易量(財・サービス)の推移
(1980年～2018年予想)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

出所：IMF[World Economic Outlook, October 2014]

※グラフデータは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

国別配分は「グラビティ理論」を活用

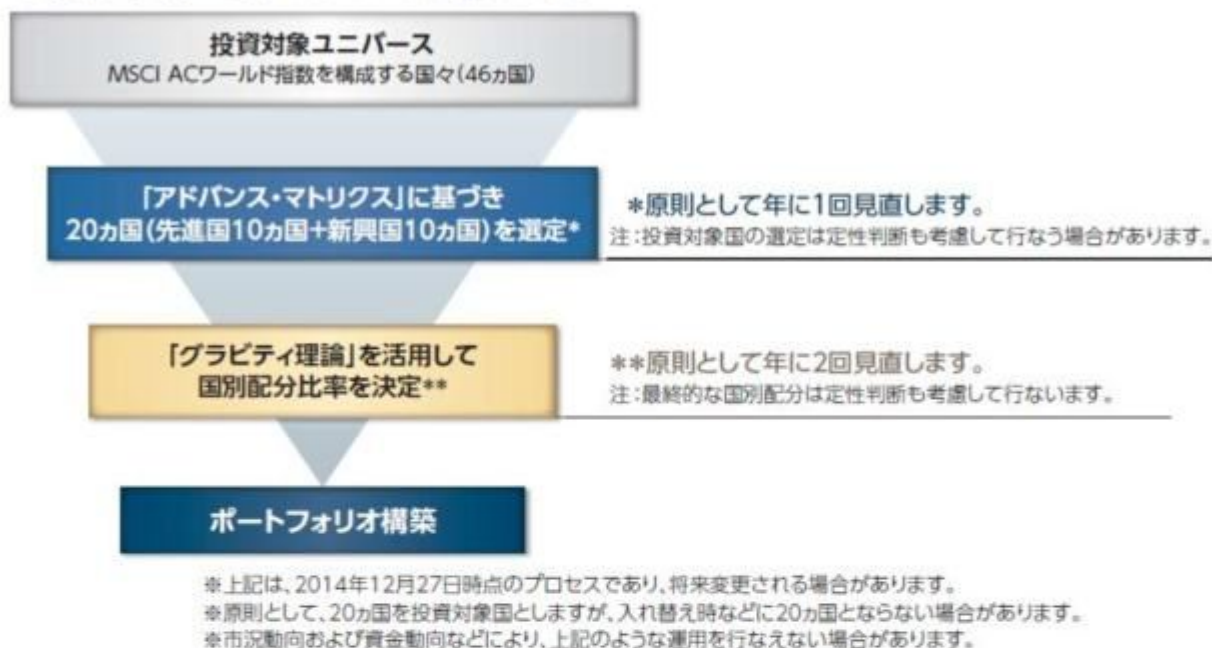
- 当ファンドでは、「アドバンス・マトリクス」を用いて投資対象国を選定したのち、「グラビティ理論」を活用し、日興アセットマネジメント アジア リミテッドからの助言を考慮して、最終的な国別配分比率を決定します。

「グラビティ理論」をベースにした国別配分比率決定の流れ



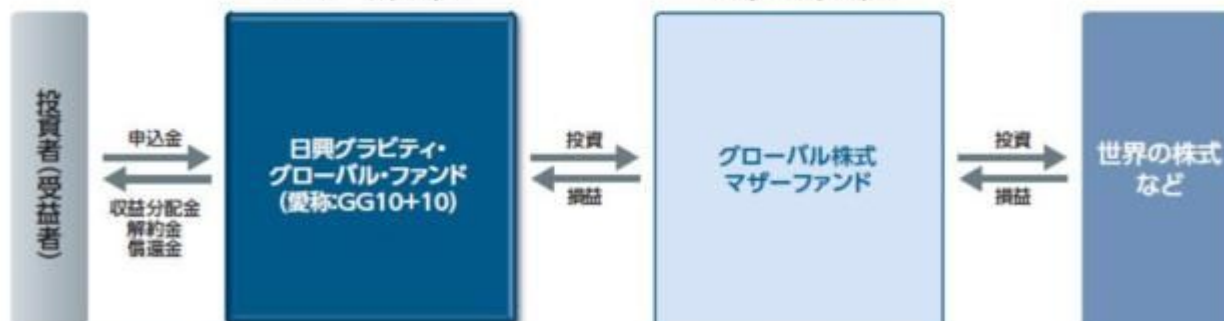
当ファンドのポートフォリオ構築プロセス

- 投資対象20カ国については原則として年1回、国別配分比率については原則として年2回、見直します。
- 投資対象国の選定および国別配分比率については、日興アセットマネジメント アジア リミテッドからの助言を考慮して日興アセットマネジメントが決定します。



ファンドの仕組み

- 当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 <ベビーファンド> <マザーファンド>



■主な投資制限

- ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。
- ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

■分配方針

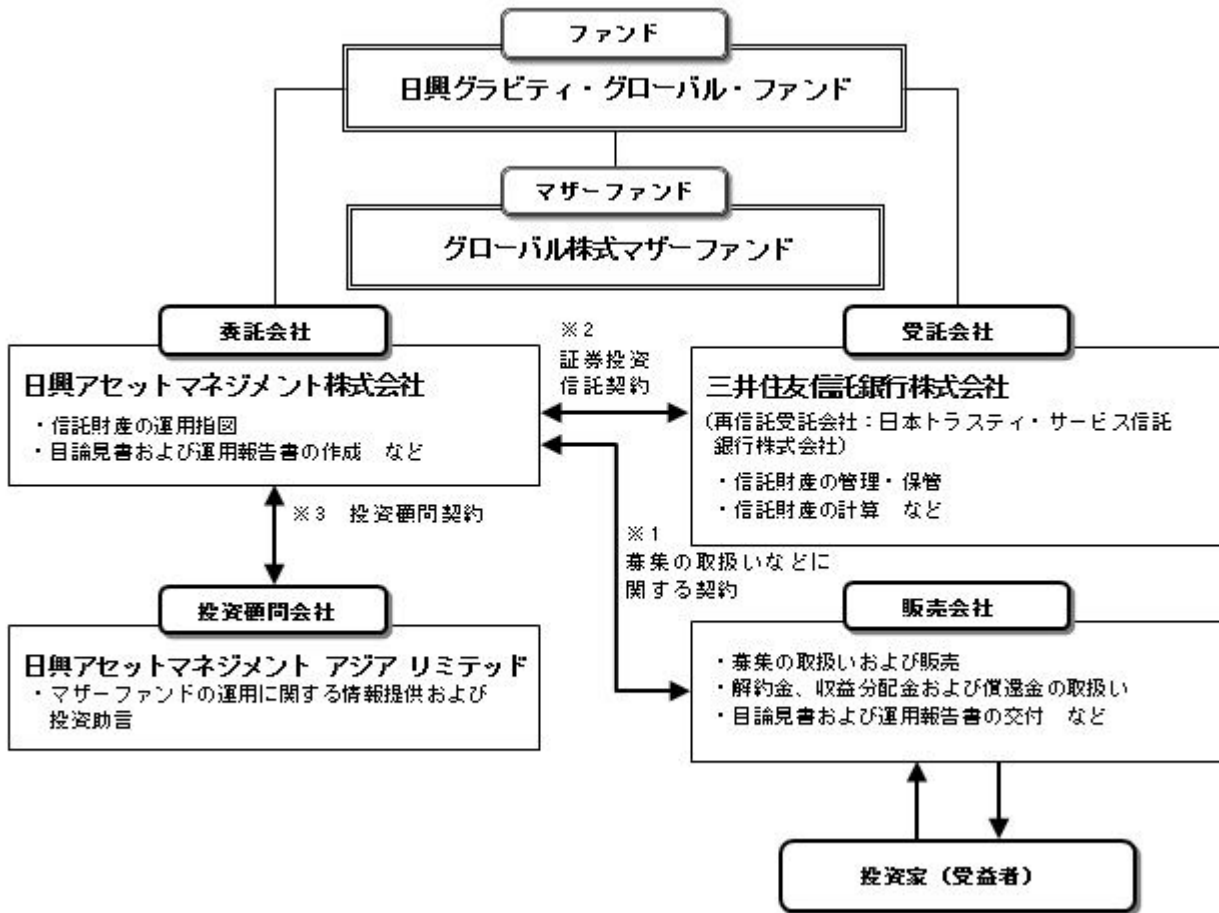
- ・毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(3) 【ファンドの仕組み】

<更新後>

ファンドの仕組み



- 1 投資信託を販売するルールを委託会社と販売会社の間で規定したもの。販売会社が行なう募集の取扱い、収益分配金・償還金の支払い、解約請求の受付の業務範囲の取決めの内容などが含まれています。
- 2 投資信託を運営するルールを委託会社と受託会社の間で規定したもの。運用の基本方針、投資対象、投資制限、信託報酬、受益者の権利、募集方法の取決めの内容などが含まれています。
- 3 投資顧問会社から株式、債券などの有価証券に対する投資判断についての助言（有価証券の種類、銘柄、数量、売買時期の判断など）を受けるルールを委託会社と投資顧問会社との間で規定したもの。投資助言を受ける対象資産、助言の内容、報酬の取決めの内容などが含まれています。

<更新後>

委託会社の概況（平成26年10月末現在）

1) 資本金

17,363百万円

2) 沿革

昭和34年：日興証券投資信託委託株式会社として設立

平成11年：日興国際投資顧問株式会社と合併し「日興アセットマネジメント株式会社」に社名変更

3) 大株主の状況

名 称	住 所	所有株数	所有比率
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	179,869,100株	91.29%
DBS Bank Ltd.	6 Shenton Way, #46-00, DBS Building Tower One, Singapore 068809	14,283,400株	7.24%

2【投資方針】

(2)【投資対象】

< 更新後 >

投資対象とするマザーファンドの概要

< グローバル株式マザーファンド >

運用の基本方針	
基本方針	世界各国の金融商品取引所上場株式（DR（預託証券）を含みます。）、株価指数先物取引に係る権利および上場投資信託証券等に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主な投資対象	世界各国の金融商品取引所上場株式（DR（預託証券）を含みます。）、株価指数先物取引に係る権利および上場投資信託証券等を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> 主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式（DR（預託証券）を含みます。）、株価指数先物取引に係る権利および上場投資信託証券等に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 国別配分比率の決定や銘柄選定は、市場動向や成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。 運用の効率化をはかるため、株価指数先物取引等のデリバティブ取引や外国為替予約取引を活用します。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額および外貨建資産の組入総額と外国為替予約取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないませんが、市況環境などを勘案して為替ヘッジを行なうことがあります。この場合、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。 ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。
収益分配	収益分配は行ないません。
ファンドに係る費用	
信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。 上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。
その他	
委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

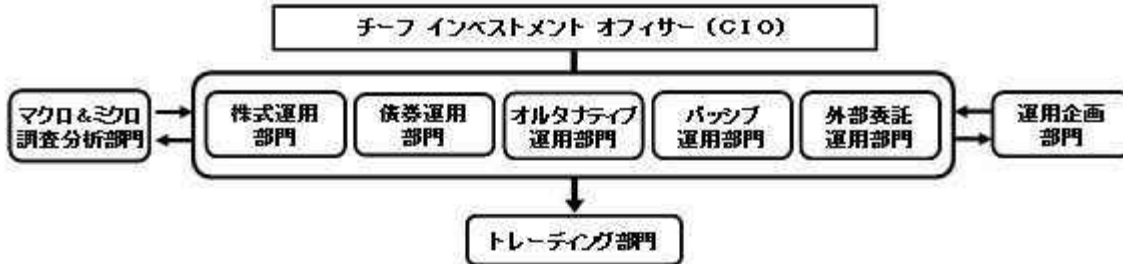
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド（投資助言）
信託期間	無期限（平成25年7月31日設定）
決算日	毎年7月12日（休業日の場合は翌営業日）

（3）【運用体制】

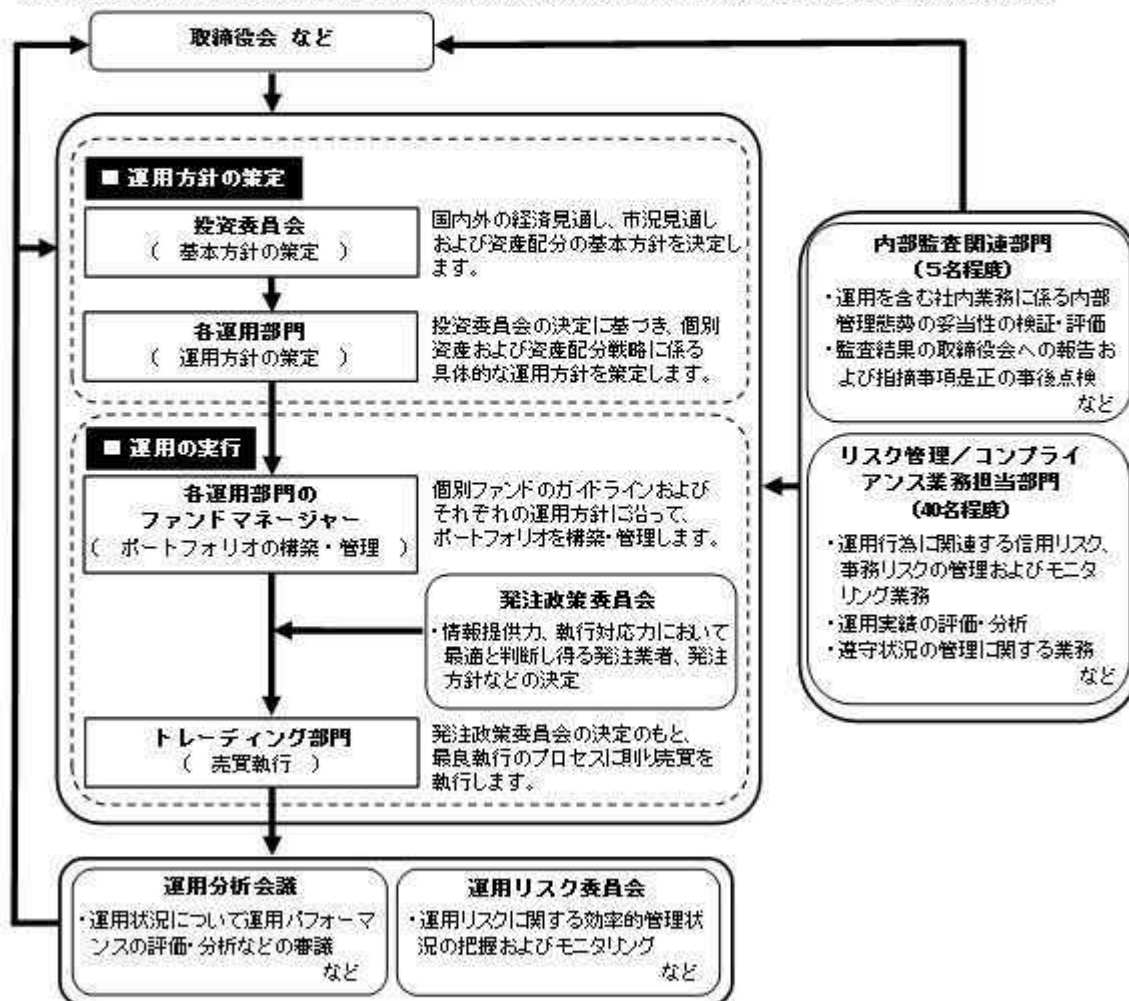
<更新後>

<日興アセットマネジメント株式会社（委託会社）における運用体制>

◆委託会社における運用体制は以下の通りです。



◆委託会社の運用体制における内部管理および意思決定を監督する組織などは以下の通りです。



委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制

「受託会社」に対しては、日々の純資産照会、月次の勘定残高照会などを行っております。また、独立した監査法人が所定の手続きで受託業務について監査を行っており、内部統制が有効に機能している旨の監査報告書を定期的に受け取っております。

「投資顧問会社」については、投資顧問会社の管理体制およびリスク管理状況のモニタリングをリスク管理業務担当部門にて行ないます。また、外部委託運用部門では外部委託ファンドの運用管理を行ない、投資方針に合った運用が行なわれているなどのモニタリングを行っております。

上記体制は平成26年10月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（５）【投資制限】

<訂正前>

約款に定める投資制限

<日興グラビティ・グローバル・ファンド>

1)～15) (略)

2014年12月1日以降、以下の投資制限が追加となります。

16) デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。

<グローバル株式マザーファンド>

1)～14) (略)

2014年12月1日以降、以下の投資制限が追加となります。

15) デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。

<訂正後>

約款に定める投資制限

<日興グラビティ・グローバル・ファンド>

1)～15) (略)

16) デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。

<グローバル株式マザーファンド>

1)～14) (略)

15) デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。

3【投資リスク】

<更新後>

（１）ファンドのリスク

<その他の留意事項>

- ・システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場および外国為替市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により有価証券取引や為替取引などが一時的に停止されることがあります。これにより、ファンドの投資方針に従った運用ができない場合があります。上記の状況が発生した場合や、その他の事由により基準価額の算出が困難となる状況が発生した場合などには、委託会社の判断により一時的に取得・換金の取り扱いを停止することもあります。

- ・投資対象とする投資信託証券に関する事項

ファンドが投資対象とする投資信託証券（マザーファンドを含みます。）と同じ投資信託証券に投資する他のファンドにおいて、解約・償還・設定などに伴う資金流出入などがあり、その結果、当該投資信託証券において有価証券の売買などが生じた場合には、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

- ・解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動に関する事項

一度に大量の解約があった場合に、解約資金の手当てをするため保有している有価証券を一度に大量に売却することがあります。その際は評価価格と実際の取引価格に差が生じるなどして、ファンドの基準価額が大きく変動する可能性があります。

- ・基準価額の妥当性に疑義が生じた場合の取得・換金の停止に関する事項

ファンドの基準価額の算出に用いた評価価格と実際の取引価格に差が生じるなど、基準価額の妥当性

に疑義が生じる場合は、委託会社の判断により、一時的に取得・換金の取扱いを停止する場合があります。

・運用制限や規制上の制限に関する事項

関係する法令規制上、または社内方針などにより取引が制限されることがあります。例えば、委託会社またはその関連会社が特定の銘柄の未公開情報を受領している場合には、当該銘柄の売買が制限されることがあります。また、委託会社またはその関連会社が行なう投資または他の運用業務に関連して、取引が制限されることもあります。したがって、これらの制限により当ファンドの運用実績に影響を及ぼす可能性があります。

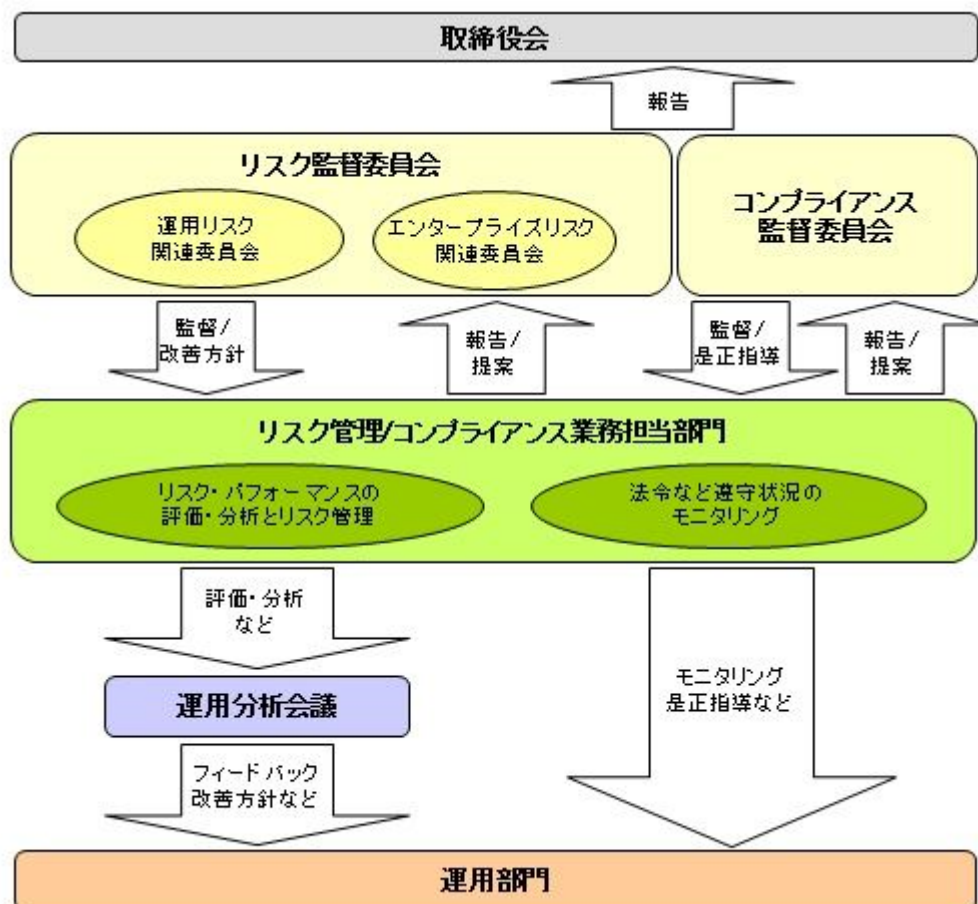
・法令・税制・会計方針などの変更に関する事項

ファンドに適用される法令・税制・会計方針などは、今後変更される場合があります。

<更新後>

(2) リスク管理体制

<日興アセットマネジメント株式会社（委託会社）におけるリスク管理体制>



全社的リスク管理

当社では運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。当社グループの法令などの遵守状況およびリスク管理状況については、リスク管理部門が事務局を務めるリスク監督委員会を通して経営陣に報告され、更に年一度以上取締役会に対して全体的な活動状況を報告しております。本委員会およびその部門別委員会においては、各種リスク（運用リスク、事務リスク、システムリスクなど）に関するモニタリングとその報告に加えて、重大なリスクの洗い出し、より予防的なリスクの軽減に繋がる施策、管理手法の構築などに努めております。

リスク・パフォーマンスの評価・分析とリスク管理

ファンド財産について運用状況の評価・分析と運用プロセスおよびリスク運営状況のモニタリングを行いません。運用パフォーマンスおよびリスクに係る評価と分析の結果については運用分析会議に報告し、リスク管理状況についてはリスク監督委員会あるいはその部門別委員会へ報告され、問題点の原因の究明や改善策策定が図られます。加えて外部委託運用部門は、外部委託ファンドの運用管理を行ない、投資方針に沿った運用が行なわれているかなどのモニタリングを行なっています。

法令など遵守状況のモニタリング

運用における法令・諸規則、信託約款などの遵守状況については、リスク管理/コンプライアンス業務担当部門が管理を行いません。問題点についてはリスク管理/コンプライアンス関連の委員会に報告され、必要に応じ運用部門に対し是正指導が行なわれるなど、適切に管理・監督を行いません。
上記体制は平成26年10月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<更新後>

(参考情報)

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率および最小騰落率(%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	18.4%	12.1%	20.3%	15.7%	2.3%	7.1%	10.4%
最大値	22.4%	65.0%	65.7%	83.9%	4.1%	34.9%	43.7%
最小値	13.1%	-17.0%	-13.6%	-22.8%	0.4%	-12.7%	-10.1%

※上記は当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記は2009年11月から2014年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。ただし、当ファンドは直近1年間の騰落率が5年分ないため、設定日以降算出できる値を使用しています。

<各資産クラスの指数>

日本株……東証株価指数(TOPIX、配当込)

先進国株……MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込、円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込、円ベース)

日本国債……NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

先進国債……シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債……JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド(円ヘッジなし、円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

東証株価指数(TOPIX、配当込)

当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

当ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。

※分配金再投資基準価額は、2013年7月末の基準価額を起点として指数化しています。

※当ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の基準価額および実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

当指数は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

当指数は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

4【手数料等及び税金】**(1)【申込手数料】**

<更新後>

販売会社が定めるものとします。申込手数料率につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。

- ・販売会社における申込手数料率は3.78%（税抜3.5%）が上限となっております。
- ・申込手数料の額（1口当たり）は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に申込手数料率を乗じて得た額とします。
- ・<分配金再投資コース>の場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、申込手数料はかかりません。
- ・販売会社によっては、償還乗換、乗換優遇の適用を受けることができる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

申込手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。

(3)【信託報酬等】

<更新後>

信託報酬

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に対し年1.5768%（税抜1.46%）の率を乗じて得た額とします。

信託報酬の配分

信託報酬の配分（年率）は、以下の通りとします。

信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率			
合計	委託会社	販売会社	受託会社
1.46%	0.70%	0.70%	0.06%

委託会社	委託した資金の運用の対価
------	--------------

販売会社	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
受託会社	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

表中の率は税抜です。別途消費税がかかります。

マザーファンドの投資顧問会社が受ける報酬は、上記委託会社が受ける信託報酬の中から支払います。

支払時期

信託報酬（信託報酬に係る消費税等相当額を含みます。）は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（当該終了日が休業日の場合はその翌営業日とします。）および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払います。

（４）【その他の手数料等】

<訂正前>

* 売買委託手数料などは、保有期間や運用の状況などに応じて異なり、あらかじめ見積もることができないため、表示することができません。

投資家の皆様にご負担いただく手数料などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

<訂正後>

監査費用は、監査法人などに支払うファンドの監査に係る費用です。

* 売買委託手数料などは、保有期間や運用の状況などに応じて異なり、あらかじめ見積もることができないため、表示することができません。

投資家の皆様にご負担いただく手数料などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

（５）【課税上の取扱い】

<更新後>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

個人受益者の場合

1) 収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については配当所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）のいずれかを選択することもできます。

2) 解約金および償還金に対する課税

解約時および償還時の差益（譲渡益）^{*}については譲渡所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税の対象となり、確定申告が必要となります。なお、源泉徴収ありの特定口座（源泉徴収選択口座）を選択している場合は、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。

* 解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を含みます。）を控除した利益

確定申告等により、解約時および償還時の差損(譲渡損失)については、上場株式等の譲渡益および上場株式等の配当等(申告分離課税を選択したものに限り、)と損益通算が可能です。また、解約時および償還時の差益(譲渡益)および普通分配金(申告分離課税を選択したものに限り、)については、上場株式等の譲渡損失と損益通算が可能です。

少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」をご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人受益者の場合

1) 収益分配金、解約金、償還金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として、15.315%(所得税のみ)の税率による源泉徴収が行なわれます。源泉徴収された税金は、所有期間に応じて法人税から控除される場合があります。

2) 益金不算入制度の適用

益金不算入制度は適用されません。

買取請求による換金の際の課税については、販売会社にお問い合わせください。

個別元本

1) 各受益者の買付時の基準価額(申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額は含まれません。)が個別元本になります。

2) 受益者が同一ファンドを複数回お申込みの場合、1口当たりの個別元本は、申込口数で加重平均した値となります。ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。

普通分配金と元本払戻金(特別分配金)

1) 収益分配金には課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。

2) 受益者が収益分配金を受け取る際

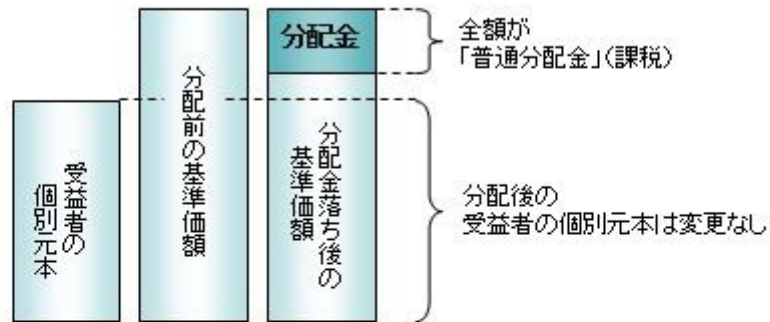
イ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本と同額かまたは上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。

ロ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本を下回っている場合には、収益分配金の範囲内でその下回っている部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、収益分配金から元本払戻金(特別分配金)を控除した金額が普通分配金となります。

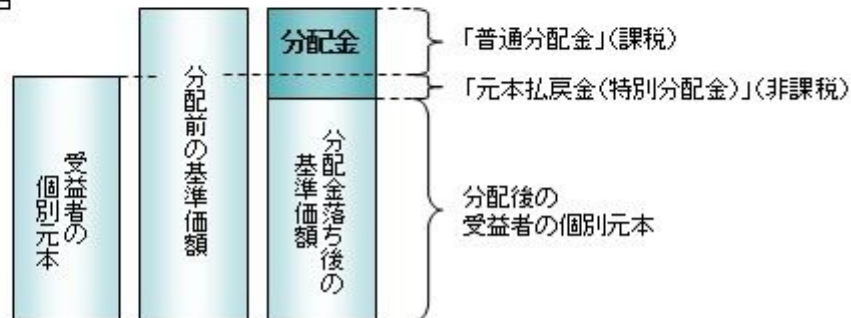
ハ) 収益分配金発生時に、その個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の受益者の個別元本となります。

<分配金に関するイメージ図>

イ) の場合



ロ)、ハ) の場合



上記は平成26年12月26日現在のものですので、税法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家などにご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【日興グラビティ・グローバル・ファンド】

以下の運用状況は2014年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)【投資状況】

資産の種類	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	23,723,350,466	99.06
コール・ローン等、その他資産(負債控除後)		225,549,881	0.94
合計(純資産総額)		23,948,900,347	100.00

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	グローバル株式マザーファンド	19,110,158,262	1.1881	22,704,779,032	1.2414	23,723,350,466	99.06

ロ.種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.06
合 計	99.06

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

期別	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
	分配落ち	分配付き	分配落ち	分配付き
第1計算期間末 (2014年 7月14日)	44,255	44,637	1.1599	1.1699
2013年10月末日	91,534		1.0755	
11月末日	92,267		1.1286	
12月末日	86,442		1.1705	
2014年 1月末日	72,508		1.0933	
2月末日	66,979		1.1227	
3月末日	60,385		1.1366	
4月末日	52,708		1.1452	
5月末日	49,046		1.1621	
6月末日	45,932		1.1718	
7月末日	40,471		1.1850	
8月末日	32,501		1.1901	
9月末日	27,799		1.2125	
10月末日	23,948		1.2057	

【分配の推移】

期	期間	1口当たりの分配金(円)
第1期	2013年 7月31日 ~ 2014年 7月14日	0.0100

【収益率の推移】

期	期間	収益率（％）
第1期	2013年 7月31日～2014年 7月14日	16.99

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

（４）【設定及び解約の実績】

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）
第1期	2013年 7月31日～2014年 7月14日	87,630,206,784	49,476,253,626

(注)第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

（参考）

グローバル株式マザーファンド

以下の運用状況は2014年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	チリ	210,279,714	0.89
	ペルー	233,850,050	0.99
	フィンランド	1,602,974,060	6.76
	フィリピン	252,846,950	1.07
	小計	2,299,950,774	9.70
国債証券	日本	14,999,885,472	63.23
投資信託受益証券	韓国	872,459,723	3.68
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		5,550,694,863	23.40
合計（純資産総額）		23,722,990,832	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	2,819,790,000	11.89
	買建	アメリカ	5,272,762,957	22.23
	買建	カナダ	2,586,246,036	10.90
	買建	メキシコ	1,210,367,421	5.10
	買建	ドイツ	4,441,825,934	18.72
	買建	イギリス	869,184,393	3.66
	買建	トルコ	467,380,430	1.97
	買建	ポーランド	234,365,507	0.99

買建	オーストラリア	684,493,238	2.89
買建	香港	660,726,000	2.79
買建	シンガポール	589,082,080	2.48
買建	マレーシア	236,474,122	1.00
買建	タイ	133,539,840	0.56
買建	南アフリカ	228,184,944	0.96

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	買建		13,958,605,000	58.84
	売建		45,292,000	0.19

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
直物為替先渡取引	買建		178,655,084	0.75
	売建		13,233,709	0.06

(注)直物為替先渡取引は、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額により評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
日本	国債証券	第469回国庫短期証券		6,000,000,000	99.99	5,999,983,200	99.99	5,999,983,200		2014/11/4	25.29
日本	国債証券	第473回国庫短期証券		6,000,000,000	99.99	5,999,933,232	99.99	5,999,933,232		2014/11/17	25.29
日本	国債証券	第486回国庫短期証券		3,000,000,000	99.99	2,999,969,040	99.99	2,999,969,040		2014/12/3	12.65
韓国	投資信託 受益証券	ISHARES MSCI SOUTH KOREA CAP-ETF		134,400	6,993.38	939,911,132	6,491.51	872,459,723			3.68
フィンランド	株式	NOKIA OYJ	テクノ ロ ジー・ ハード ウェア および 機器	488,598	753.76	368,288,560	907.41	443,360,177			1.87
フィンランド	株式	SAMPO OYJ-A SHS	保険	58,225	5,123.40	298,310,198	5,212.97	303,525,411			1.28
フィンランド	株式	KONE OYJ-B	資本財	40,680	4,193.25	170,581,573	4,613.54	187,678,970			0.79
フィンランド	株式	FORTUM OYJ	公益事 業	58,475	2,670.56	156,161,230	2,477.64	144,880,233			0.61
ペルー	株式	CREDICORP LTD	銀行	8,400	16,399.90	137,759,215	17,225.42	144,693,558			0.61
フィンランド	株式	UPM-KYMMENE OYJ	素材	68,994	1,677.02	115,704,732	1,703.20	117,511,133			0.50

フィンランド	株式	WARTSILA OYJ ABP	資本財	19,373	4,821.62	93,409,283	4,956.66	96,025,490		0.40
フィンランド	株式	STORA ENSO OYJ-R SHS	素材	72,836	943.92	68,752,085	890.18	64,837,733		0.27
ペルー	株式	SOUTHERN COPPER CORP (US)	素材	20,400	3,606.03	73,563,077	3,107.44	63,391,833		0.27
フィンランド	株式	ELISA OYJ	電気通信サービス	18,686	3,063.29	57,240,712	2,975.10	55,592,756		0.23
フィンランド	株式	METSO OYJ	資本財	14,687	3,564.88	52,357,480	3,530.43	51,851,513		0.22
フィンランド	株式	NOKIAN RENKAAT OYJ	自動車・自動車部品	15,124	3,869.42	58,521,168	3,380.23	51,122,659		0.22
フィンランド	株式	ORION OYJ-CLASS B	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	12,824	3,688.90	47,306,531	3,738.51	47,942,704		0.20
フィンランド	株式	NESTE OIL OYJ	エネルギー	16,723	1,853.40	30,994,575	2,310.90	38,645,281		0.16
フィリピン	株式	PHILIPPINE LONG DISTANCE TEL	電気通信サービス	4,050	7,290.00	29,524,500	7,571.88	30,666,114		0.13
フィリピン	株式	AYALA LAND INC	不動産	330,000	76.30	25,179,660	80.67	26,623,080		0.11
チリ	株式	S.A.C.I. FALABELLA	小売	33,300	927.70	30,892,415	798.96	26,605,533		0.11
ペルー	株式	CIA DE MINAS BUENAVENTUR-ADR	素材	23,400	1,270.53	29,730,421	1,101.05	25,764,659		0.11
チリ	株式	ENERSIS S.A. - SPONS ADR	公益事業	13,500	1,898.14	25,624,923	1,741.78	23,514,114		0.10
フィリピン	株式	UNIVERSAL ROBINA CORP	食品・飲料・タバコ	44,000	387.34	17,043,048	445.90	19,619,820		0.08
フィリピン	株式	JG SUMMIT HOLDINGS INC	資本財	125,000	123.20	15,400,125	155.03	19,379,250		0.08
チリ	株式	EMPRESAS COPEC SA	エネルギー	14,200	1,385.30	19,671,394	1,323.92	18,799,734		0.08
フィリピン	株式	AYALA CORPORATION	各種金融	11,200	1,613.52	18,071,424	1,652.40	18,506,880		0.08
チリ	株式	EMPRESA NAC ELEC-CHIL-SP ADR	公益事業	3,600	5,124.76	18,449,157	5,132.41	18,476,711		0.08
フィリピン	株式	SM INVESTMENTS CORP	資本財	8,700	1,941.57	16,891,659	1,907.55	16,595,685		0.07
フィリピン	株式	BDO UNIBANK INC	銀行	70,000	221.13	15,479,100	233.52	16,346,610		0.07

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内 / 国外	業種	投資比率 (%)
株式	国外	エネルギー	0.24
		素材	1.24
		資本財	1.68
		運輸	0.08
		自動車・自動車部品	0.22
		消費者サービス	0.04

	小売	0.11
	食品・生活必需品小売り	0.06
	食品・飲料・タバコ	0.14
	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.20
	銀行	0.89
	各種金融	0.11
	保険	1.28
	不動産	0.19
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.87
	電気通信サービス	0.41
	公益事業	0.93
国債証券		63.23
投資信託受益証券		3.68
合 計		76.60

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	地域	取引所	名称	建別	数量	通貨	契約額等 (各通貨)	契約額等(円)	評価額 (各通貨)	評価額(円)	投資 比率 (%)
株価指数先物取引	日本	大阪取引所	日経平均株価指数先物 2014年12月	買建	171	日本円	2,683,712,972	2,683,712,972	2,819,790,000	2,819,790,000	11.89
	アメリカ	シカゴ商業取引所	SP500 1412	買建	97	米ドル	48,232,037.5	5,273,690,980	48,223,550	5,272,762,957	22.23
	カナダ	モントリオール取引所	SPTSX 601412	買建	158	加ドル	28,145,804	2,747,874,844	26,490,280	2,586,246,036	10.90
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	SWISSMKT1412	買建	260	スイスフラン	22,848,800	2,612,988,768	22,656,400	2,590,985,904	10.92
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	DAX IDX 1412	買建	59	ユーロ	14,198,350	1,956,532,630	13,431,350	1,850,840,030	7.80
	オーストラリア	シドニー先物取引所	SPI 200 1412	買建	52	豪ドル	7,105,800	685,496,526	7,095,400	684,493,238	2.89
	イギリス	OMLXロンドン	OMXS30 1411	買建	418	スウェーデンクローナ	54,477,940	811,176,527	58,373,700	869,184,393	3.66
	香港	香港先物取引所	HSHRSIDX1411	買建	88	香港ドル	45,566,400	642,486,240	46,860,000	660,726,000	2.79
	シンガポール	シンガポール取引所	MSCISGIX1411	買建	95	シンガポールドル	6,885,600	589,407,360	6,881,800	589,082,080	2.48
	マレーシア	クアラルンプール証券取引所	FTSEKLC11411	買建	77	マレーシアリンギット	7,007,000	233,333,099	7,101,325	236,474,122	1.00
	タイ	タイ先物取引所	SET50 1412	買建	192	タイバーツ	40,936,320	137,546,035	39,744,000	133,539,840	0.56

メキシコ	メキシコデリバティブ取引所	MEXBOLSA1412	買建	333	メキシコペソ	153,925,920	1,254,496,248	148,511,340	1,210,367,421	5.10
トルコ	トルコデリバティブ取引所	ISE30 1412	買建	950	トルコリラ	9,274,118.41	461,109,167	9,400,250	467,380,430	1.97
ポーランド	ワルシャワ証券取引所	WIGM20DX1412	買建	146	ポーランドズロチ	7,302,920	238,951,542	7,162,760	234,365,507	0.99
南アフリカ	南アフリカ先物取引所	JSETOP4 1412	買建	52	南アフリカランド	23,979,280	241,231,557	22,682,400	228,184,944	0.96

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	名称	建別	数量	契約額等(円)	評価額(円)	投資比率(%)
為替予約取引	米ドル	買建	45,500,000.00	4,877,800,200	4,969,965,000	20.95
	加ドル	買建	25,900,000.00	2,445,796,570	2,520,847,000	10.63
	メキシコペソ	買建	83,400,000.00	660,377,880	675,540,000	2.85
	ユーロ	買建	10,700,000.00	1,450,192,400	1,473,818,000	6.21
	スイスフラン	買建	14,300,000.00	1,605,818,500	1,635,062,000	6.89
	スウェーデンクローナ	買建	13,300,000.00	196,253,470	197,771,000	0.83
	トルコリラ	買建	9,600,000.00	443,030,400	468,672,000	1.98
	ポーランドズロチ	買建	5,900,000.00	189,283,800	192,222,000	0.81
	豪ドル	買建	5,900,000.00	545,921,100	565,515,000	2.38
	香港ドル	買建	36,900,000.00	509,552,100	519,552,000	2.19
	シンガポールドル	買建	6,600,000.00	554,162,400	564,234,000	2.38
	南アフリカランド	買建	17,700,000.00	168,574,800	175,407,000	0.74
	米ドル	売建	200,000.00	21,816,525	21,866,000	0.09
	ユーロ	売建	170,000.00	23,423,025	23,426,000	0.10

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

名称	種類	通貨	数量	契約額等(円)	邦貨換算額(円)	投資比率(%)
直物為替先渡取引	買建	マレーシアリングgit/米ドル	1,639,244.73	179,235,018	178,655,084	0.75
	売建	マレーシアリングgit/米ドル	121,414.48	13,275,459	13,233,709	0.06

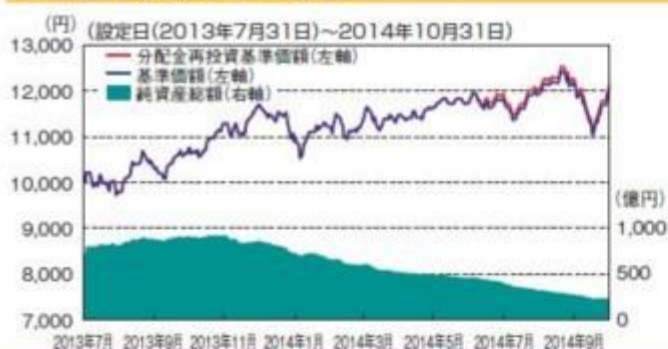
(注)直物為替先渡取引は、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額により評価しています。

参考情報

運用実績

2014年10月31日現在

基準価額・純資産の推移



基準価額……………12,057円
純資産総額……………239.48億円

※基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。

※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。

分配の推移(税引前、1万口当たり)

2014年7月	設定来累計
100円	100円

主要な資産の状況

<資産構成比率>

組入資産	比率
株式	98.6%
うち先物	85.3%
債券	62.6%
現金その他	24.1%

※当ファンドの実質組入比率です。

<外国通貨別構成比(上位5通貨)>

通貨名	比率
アメリカドル	28.1%
ユーロ	14.5%
スイスフラン	10.9%
カナダドル	10.9%
メキシコペソ	5.2%

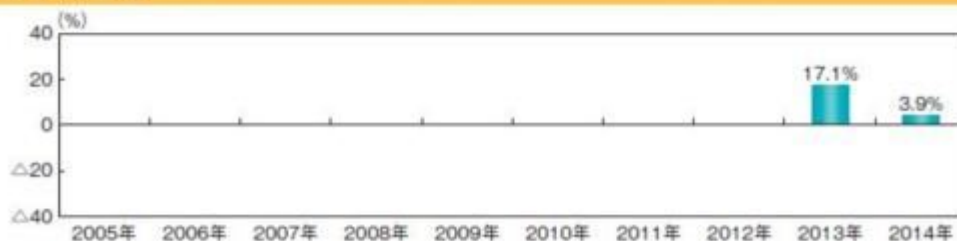
※比率は、マザーファンドの対純資産総額比です。

<国別投資比率(上位10カ国)>

	国名	比率	投資内容	銘柄
1	アメリカ	22.2%	株式先物	SP500
2	日本	11.9%	株式先物	日経225
3	スイス	10.9%	株式先物	SMIDX
4	カナダ	10.9%	株式先物	SPTX6
5	ドイツ	7.8%	株式先物	DAIDX
6	フィンランド	6.8%	現物株式	
7	メキシコ	5.1%	株式先物	MXBLS
8	韓国	3.7%	ETF	ISHARES MSCI SOUTH KOREA CAP-ETF
9	スウェーデン	3.7%	株式先物	OMX30
10	オーストラリア	2.9%	株式先物	SPIAX

※比率は、マザーファンドの純資産総額比です。

年間収益率の推移



※ファンドの年間収益率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。

※当ファンドには、ベンチマークはありません。

※2013年は、設定時から2013年末までの騰落率です。

※2014年は、2014年10月末までの騰落率です。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

※ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示しています。

第2【管理及び運営】

3【資産管理等の概要】

（５）【その他】

<更新後>

信託約款の変更など

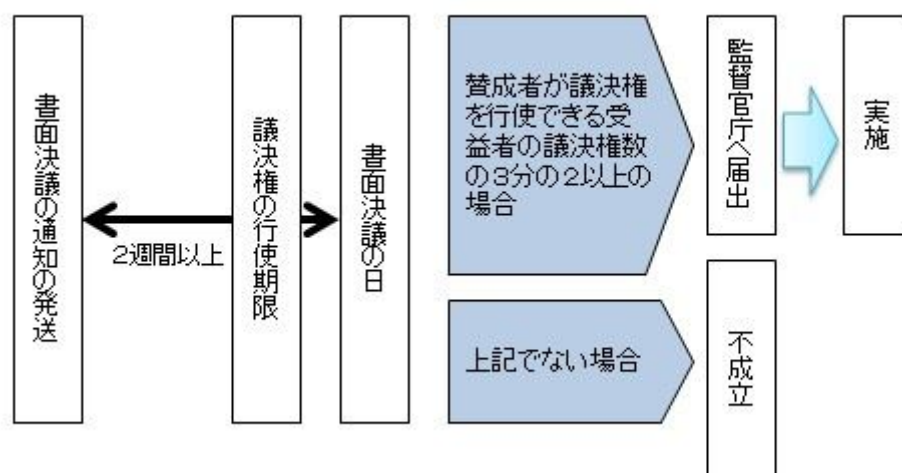
- 1) 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意の上、この信託約款を変更すること、または当ファンドと他のファンドとの併合（以下「併合」といいます。）を行なうことができます。信託約款の変更または併合を行なう際には、委託会社は、その旨および内容をあらかじめ監督官庁に届け出ます。
- 2) この変更事項のうち、その内容が重大なものまたは併合（受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものを除きます。）については、書面決議を行ないます。（後述の「書面決議」をご覧ください。）
- 3) 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、後述の「書面決議」の規定を適用します。

<更新後>

書面決議

- 1) 繰上償還、信託約款の重大な変更または併合に対して、委託会社は書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびにその内容および理由などの事項を定め、決議の日の2週間前までに知れている受益者に対し書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
- 2) 受益者は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行使しないときは、書面決議について賛成するものとみなします。
- 3) 書面決議は、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
- 4) 繰上償還、信託約款の重大な変更または併合に関する委託会社の提案に対して、すべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、書面決議を行ないません。
- 5) 当ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合であっても、併合にかかる他のファンドにおいて併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行なうことはできません。
- 6) 当ファンドは、受益者からの換金請求に対して、投資信託契約の一部を解約することにより応じることができるため、受益者の保護に欠けるおそれがないものとして、書面決議において反対した受益者からの買取請求は受け付けません。

<書面決議の主な流れ>



<更新後>

運用報告書の作成

- ・委託会社は、毎期決算後および償還後に期中の運用経過、組入有価証券の内容および有価証券の売買状況などを記載した運用報告書を作成します。

- ・ 交付運用報告書は、原則として知っている受益者に対して交付されます。
- ・ 運用報告書（全体版）は、委託会社のホームページに掲載されます。ただし、受益者から運用報告書（全体版）の交付請求があった場合には、交付します。
ホームページ アドレス <http://www.nikkoam.com/>

<更新後>

関係法人との契約について

- ・ 販売会社との募集の取扱いなどに関する契約の有効期間は契約日より1年間とします。ただし、期間満了の3ヵ月前までに、販売会社、委託会社いずれからも別段の意思表示がないときは、自動的に1年間延長されるものとし、以後も同様とします。
- ・ 投資顧問会社とのマザーファンドにおける投資顧問契約は、当該ファンドの信託期間終了まで存続します。ただし、投資顧問会社、委託会社が重大な契約違反を行なったとき、その他契約を継続し難い重大な事由があるときは、相手方に通知をなすことにより契約を終了することができます。

第3【ファンドの経理状況】

2【ファンドの現況】

以下のファンドの現況は2014年10月31日現在です。

【日興グラビティ・グローバル・ファンド】

【純資産額計算書】

資産総額	24,794,606,784円
負債総額	845,706,437円
純資産総額（ - ）	23,948,900,347円
発行済口数	19,863,218,042口
1口当たり純資産額（ / ）	1.2057円

（参考）

グローバル株式マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	24,776,780,585円
負債総額	1,053,789,753円
純資産総額（ - ）	23,722,990,832円
発行済口数	19,110,158,262口
1口当たり純資産額（ / ）	1.2414円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

<更新後>

(1) 資本金の額

平成26年10月末現在	資本金	17,363,045,900円
	発行可能株式総数	230,000,000株
	発行済株式総数	197,012,500株

過去5年間における主な資本金の増減：該当事項はありません。

(2) 会社の意思決定機関（平成26年10月末現在）

・株主総会

株主総会は、取締役・監査役の選任および定款変更に係る決議などの株式会社の基本的な方針や重要な事項の決定を行ないます。

当社は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において、その権利を行使することができる株主とみなし、毎年3月31日（事業年度の終了）から3ヶ月以内にこれを招集し、臨時株主総会は必要に応じてこれを招集します。

・取締役会

取締役会は、業務執行の決定を行い、取締役の職務の執行の監督をします。

当社の取締役会は10名以内の取締役で構成され、取締役の任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとします。取締役会はその決議をもって、代表取締役若干名を選定します。

・監査役会

当社の監査役会は5名以内の監査役で構成され、監査役の任期は選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までを任期とします。監査役会は、その決議をもって常勤の監査役を選定します。

(3) 運用の意思決定プロセス（平成26年10月末現在）

1. 投資委員会にて、国内外の経済見通し、市況見通しおよび資産配分の基本方針を決定します。
2. 各運用部門は、投資委員会の決定に基づき、個別資産および資産配分戦略に係る具体的な運用方針を策定します。
3. 各運用部門のファンドマネージャーは、上記方針を受け、個別ファンドのガイドラインおよびそれぞれの運用方針に沿って、ポートフォリオを構築・管理します。
4. トレーディング部門は、社会的信用力、情報提供力、執行対応力において最適と判断し得る発注業者、発注方針などを決定します。その上で、トレーダーは、最良執行のプロセスに則り売買を執行します。
5. 運用に関するリスク・パフォーマンスの評価と分析および法令など遵守状況のモニタリングとリスクの管理については、運用部門から独立したリスク管理/コンプライアンス業務担当部門が担当し、これを運用部門にフィードバックすることにより、適切な運用体制を維持できるように努めています。

2【事業の内容及び営業の概況】

<更新後>

- ・「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行なっています。

・委託会社の運用する、平成26年10月末現在の投資信託などは次の通りです。

種 類	ファンド本数	純資産額 (単位：億円)
投資信託総合計	541	100,448
株式投資信託	486	79,007
単位型	76	2,109
追加型	410	76,897
公社債投資信託	55	21,441
単位型	39	358
追加型	16	21,082
投資法人合計	1	42

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

(3) 投資顧問会社

名 称	資本金の額 (平成26年3月末現在)	事業の内容
日興アセットマネジメント アジア リミテッド	44百万シンガポールドル	資産運用に関する業務を営んでいます。

2【関係業務の概要】

<更新後>

(3) 投資顧問会社

マザーファンドの運用に関する情報提供および投資助言を行ないます。

3【資本関係】

<更新後>

(3) 投資顧問会社

日興アセットマネジメント株式会社の100%子会社である持株会社が、日興アセットマネジメント アジア リミテッドの発行済株式総数の100%を保有しております。(平成26年3月末現在)